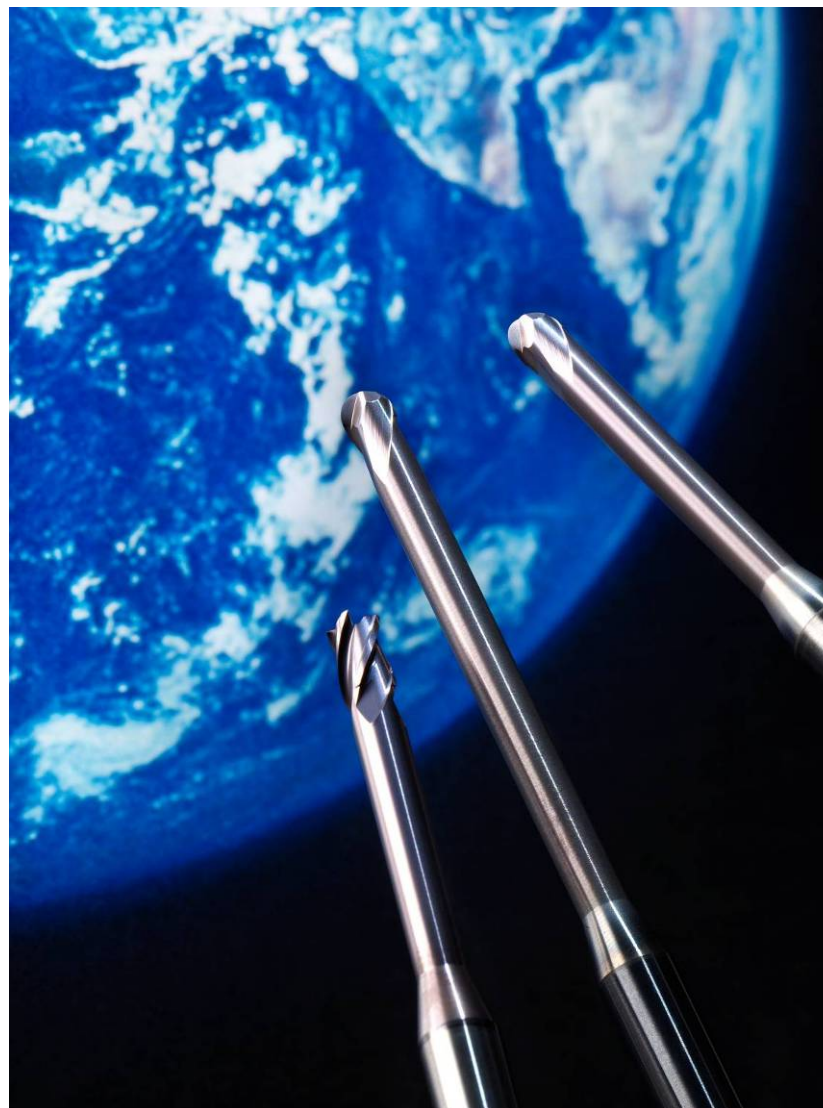




日進工具株式会社

～超硬小径エンドミルのトップランナー～

決算概要と経営戦略を
情熱をもって
皆さまにお伝えいたします



2012年3月期 通期決算概要

2012年5月11日
(証券コード6157)

目次

1. 日進工具とは

- P. 3 ... 会社概要と代表者のプロフィール
- P. 4 ... 日進工具の特徴
- P. 6 ... 需要業種と主要ユーザー

2. 業界動向と事業戦略

- P. 8 ... 業界動向
- P. 9 ... 工具市場の動きと当社のスタンス
- P. 10 ... 3つの経営戦略

3. 2012年3月期の業績

- P. 16 ... エグゼクティブサマリー
- P. 18 ... IR宣言
- P. 19 ... 損益計算書サマリー
- P. 25 ... 貸借対照表サマリー

4. 2013年3月期の業績見通し

- P. 27 ... 業績予想見通し
- P. 28 ... 2013年3月期の重点戦略

5. 日進工具が目指すもの

- P. 30 ... Made in Japanを標榜
- P. 31 ... 顧客満足度の向上
- P. 32 ... 技術力のあくなき追求
- P. 35 ... IR活動目標（2013年3月期）
- P. 36 ... <参考資料>業績関連データ



1. 日進工具とは



会社の概要と代表者のプロフィール

会社概要

商号 : 日進工具株式会社
創業 : 1954年12月
事業内容 : 超硬小径エンドミル等の製造販売
取引所 : ジャスダック市場(コード6157)

2012年3月期業績

売上高 : 57.8億円
経常利益 : 10.3億円
売上高経常利益率 : 17.9%

マーケットにおける評価 (5/10時点: 株価2,800円)

時価総額 : 43.7億円
PER(予算) : 7.29倍
PBR(実績) : 0.66倍



代表取締役社長
後藤 勇

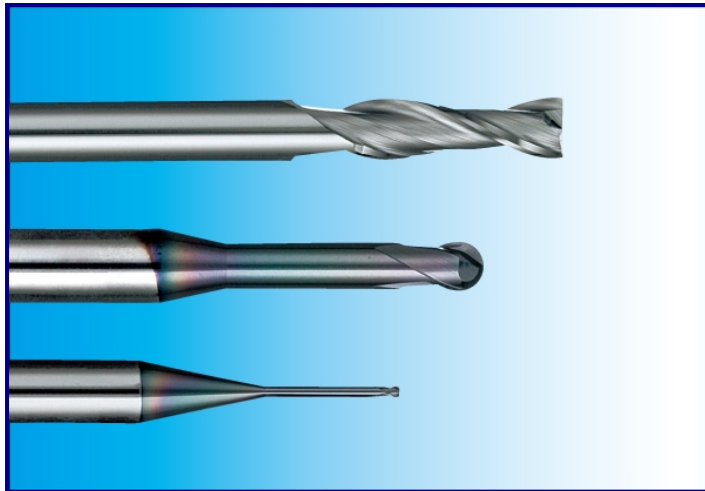
後藤勇のプロフィール

1972年 入社
1991年 代表取締役社長就任
2004年 ジャスダック上場

後藤勇の信条

☆笑顔と感謝を忘れずに
☆モノづくりはヒトづくり

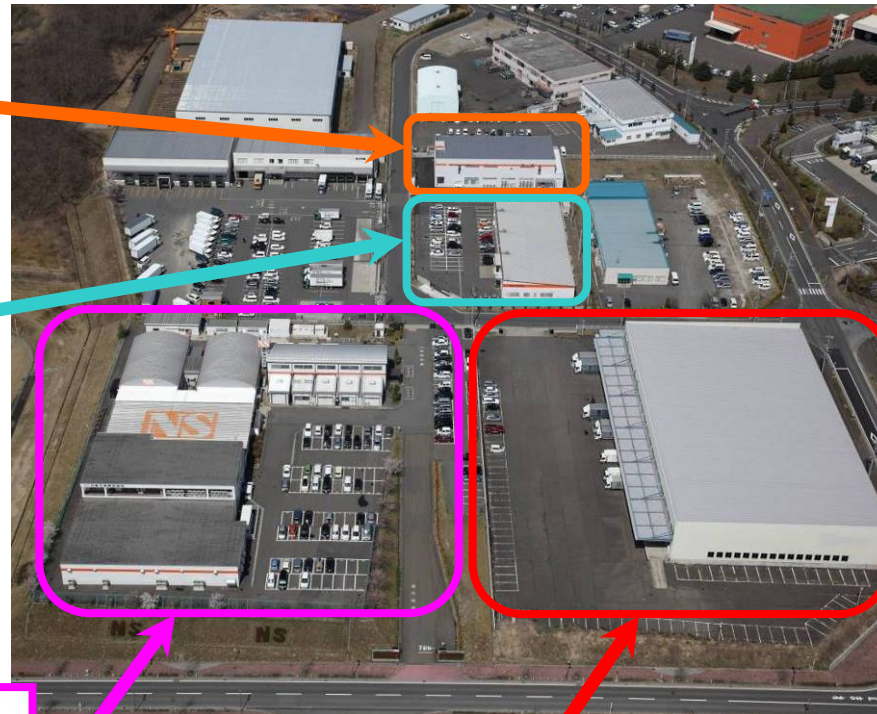
日進工具の特徴



当社製品『超硬エンドミル』は、
金型や自動車部品・電子部品等
の加工に使用される

- 1. 超硬小径エンドミルのトップランナー**
～国内シェアは31%とトップ～
- 2. 高収益体質**
～売上高経常利益率は17.9%～
- 3. 無借金経営**
～自己資本比率85%、
現預金22億円と強固な財務体質～
- 4. 高い危機対応能力**
～大震災後、仙台工場は約1ヶ月で全面復旧～

生産・開発拠点(仙台)



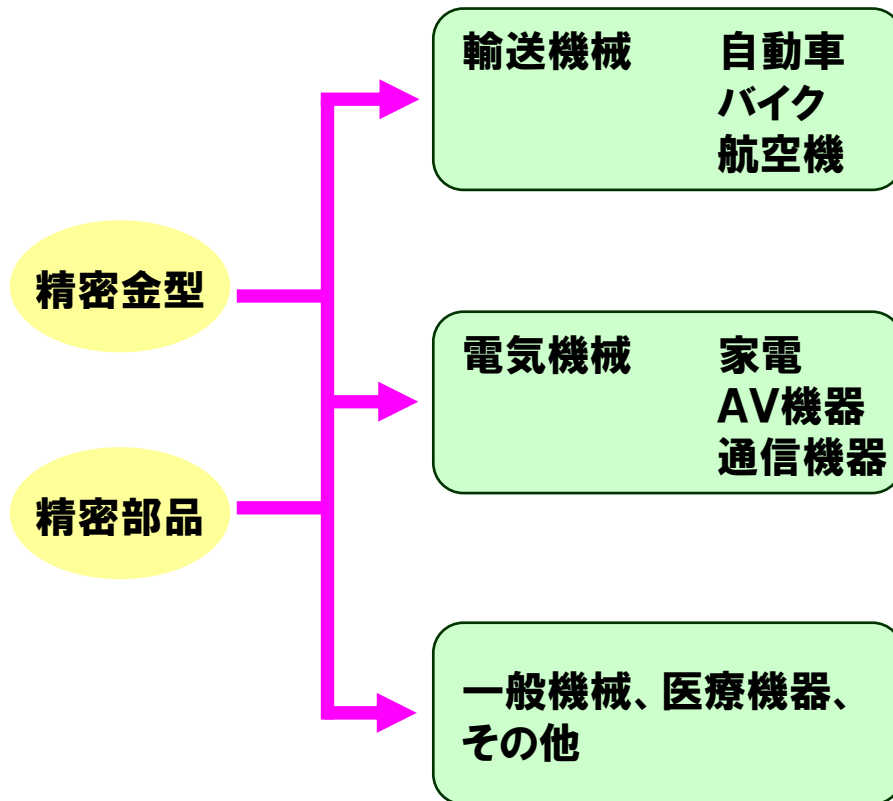
2011年8月 土地・建物取得
今後、事業拡大を図る
(取得金額:297百万円)

工場内風景



需要業種と主要ユーザー

需要業種



主要ユーザー

主なユーザー企業名	業種
キヤノン	カメラ・OA機器
ニコン	カメラ・半導体製造装置
パナソニック	民生用電機
ヒロセ電機	電子部品
アルプス電気	電子部品
東京エレクトロン	半導体製造装置
トヨタ自動車	自動車
デンソー	自動車部品
アイシン精機	自動車部品
ブラザー	機械(事務機)
バンダイ	玩具
シマノ	自転車部品等



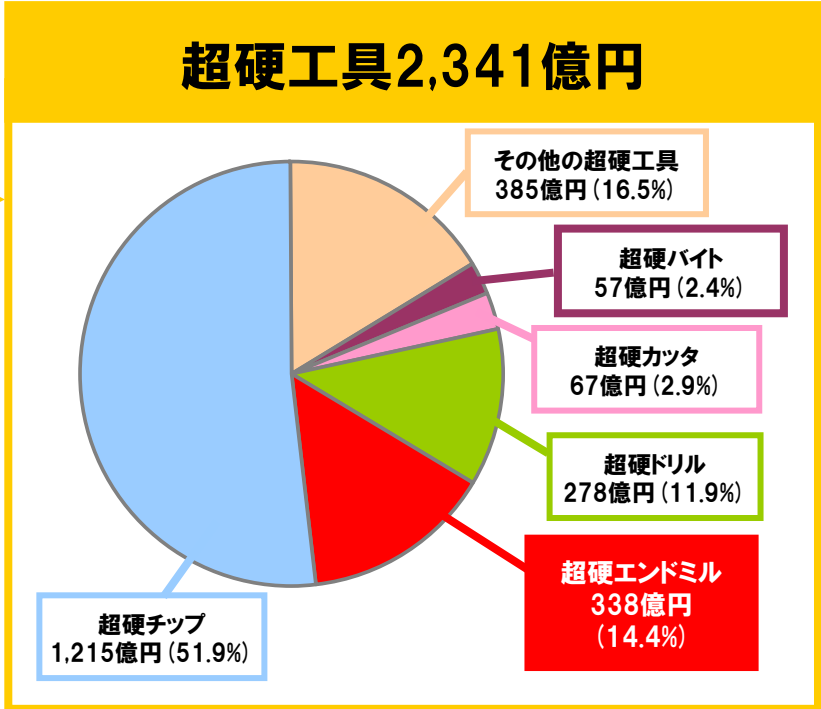
2. 業界動向と事業戦略



業界動向

機械工具生産金額 (2011年) 総額 4,113 億円	
超硬工具	2,341億円 (56.9%)
C(W)BN工具	221億円 (5.4%)
ダイヤモンド工具	695億円 (16.9%)
特殊鋼切削工具	854億円 (20.8%)

出所: 経済産業省「機械統計」

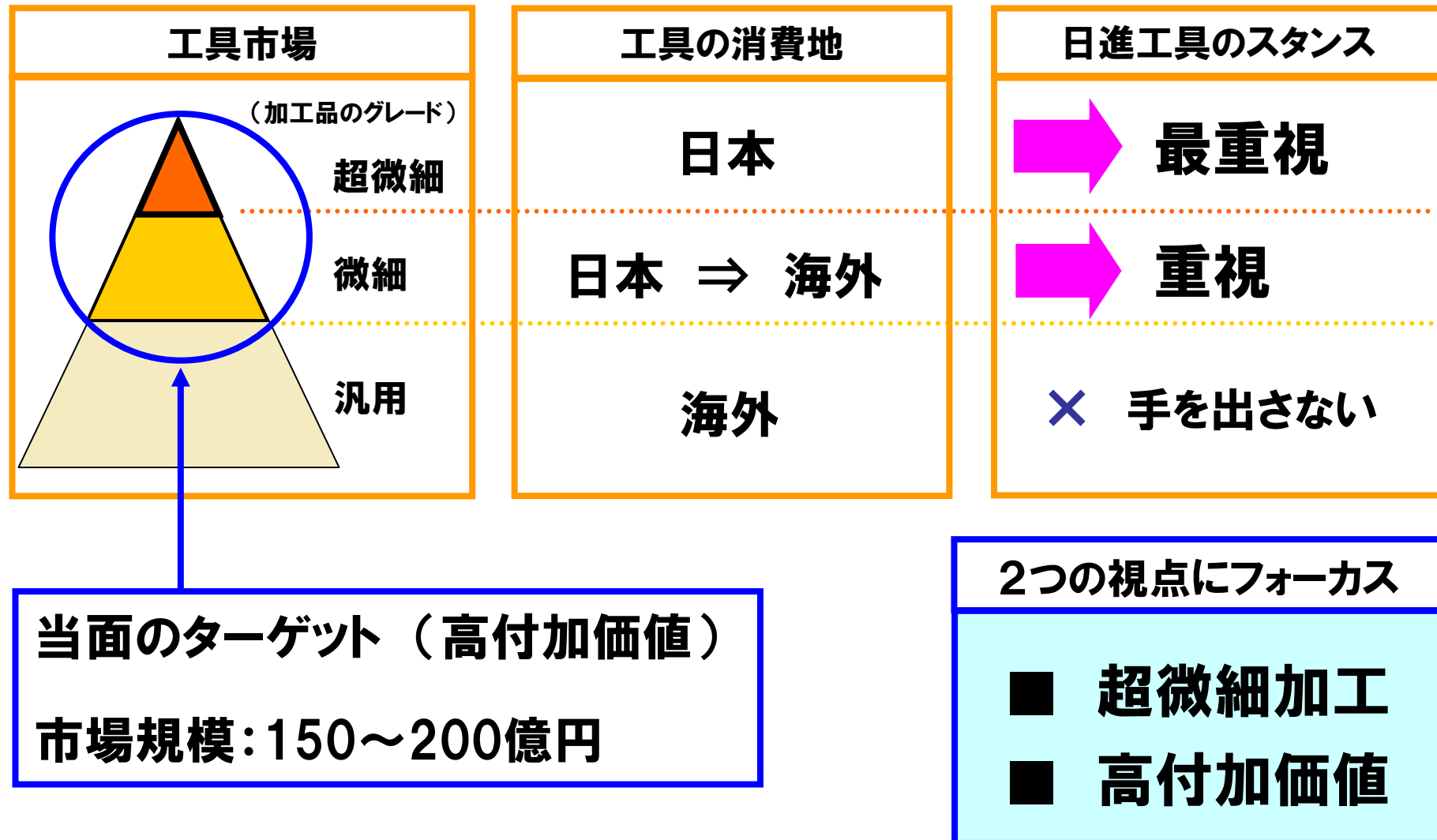


当社は、超硬小径エンドミルの圧倒的No.1企業を目指す




小径市場は
約150億円

出所: 当社推計

工具市場の動きと当社のスタンス



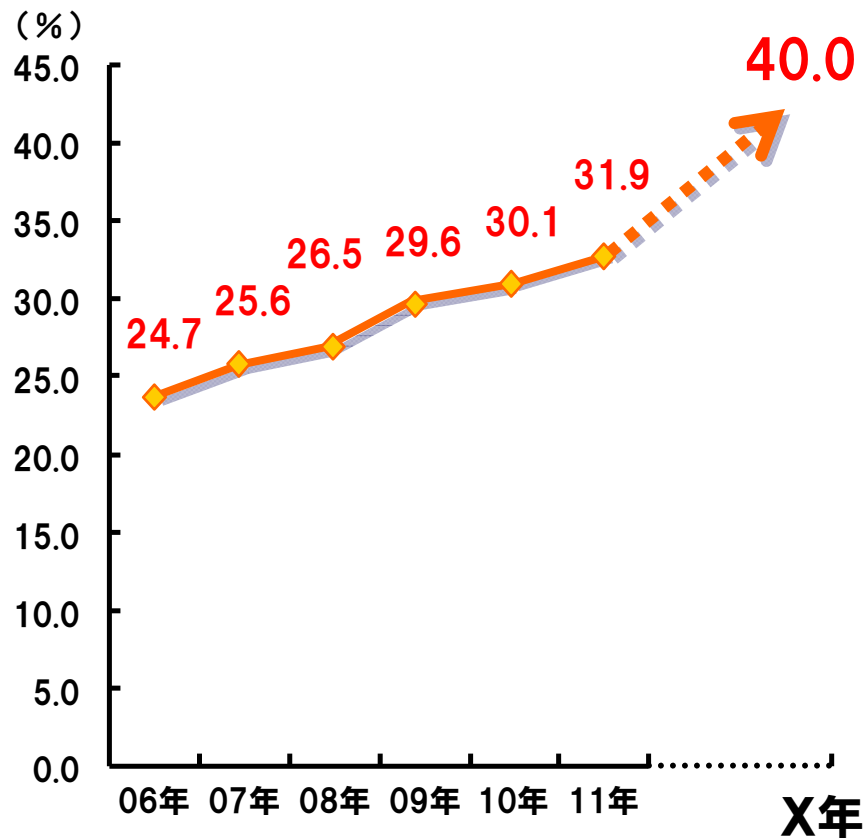
3つの経営戦略

<p>① 国内戦略</p>	<p>日本が主体の超精密・微細加工分野で オンリーワン企業へ  シェアを現状の31%→40%へ</p>
<p>② 海外戦略</p>	<p>海外でも「指名される工具」へ  工作機械メーカー・現地代理店との関係強化</p>
<p>③ 製品戦略</p>	<p>高精度技術力の推進による 事業フィールドの拡大  新素材工具の研究・多角化</p>

① 国内戦略

日本が主体の超精密・微細加工分野でオンリーワン企業へ

超硬小径エンドミルの当社シェア

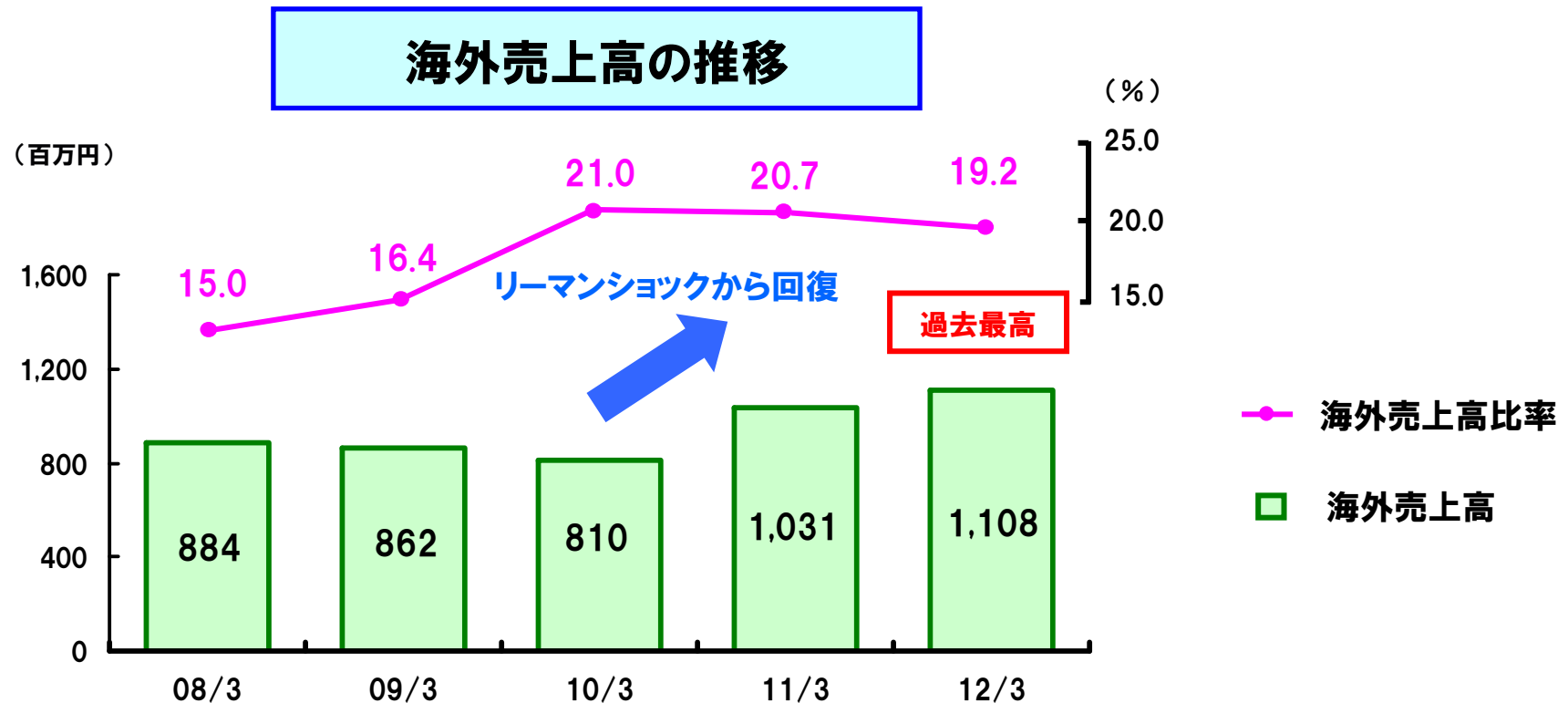


(出所)当社推計

シェアアップの背景

- ① 顧客からの相対的評価上昇
- ② 高精度、安定供給による信頼度向上
- ③ 選択と集中の成果

② 海外戦略 海外でも「指名される工具」へ

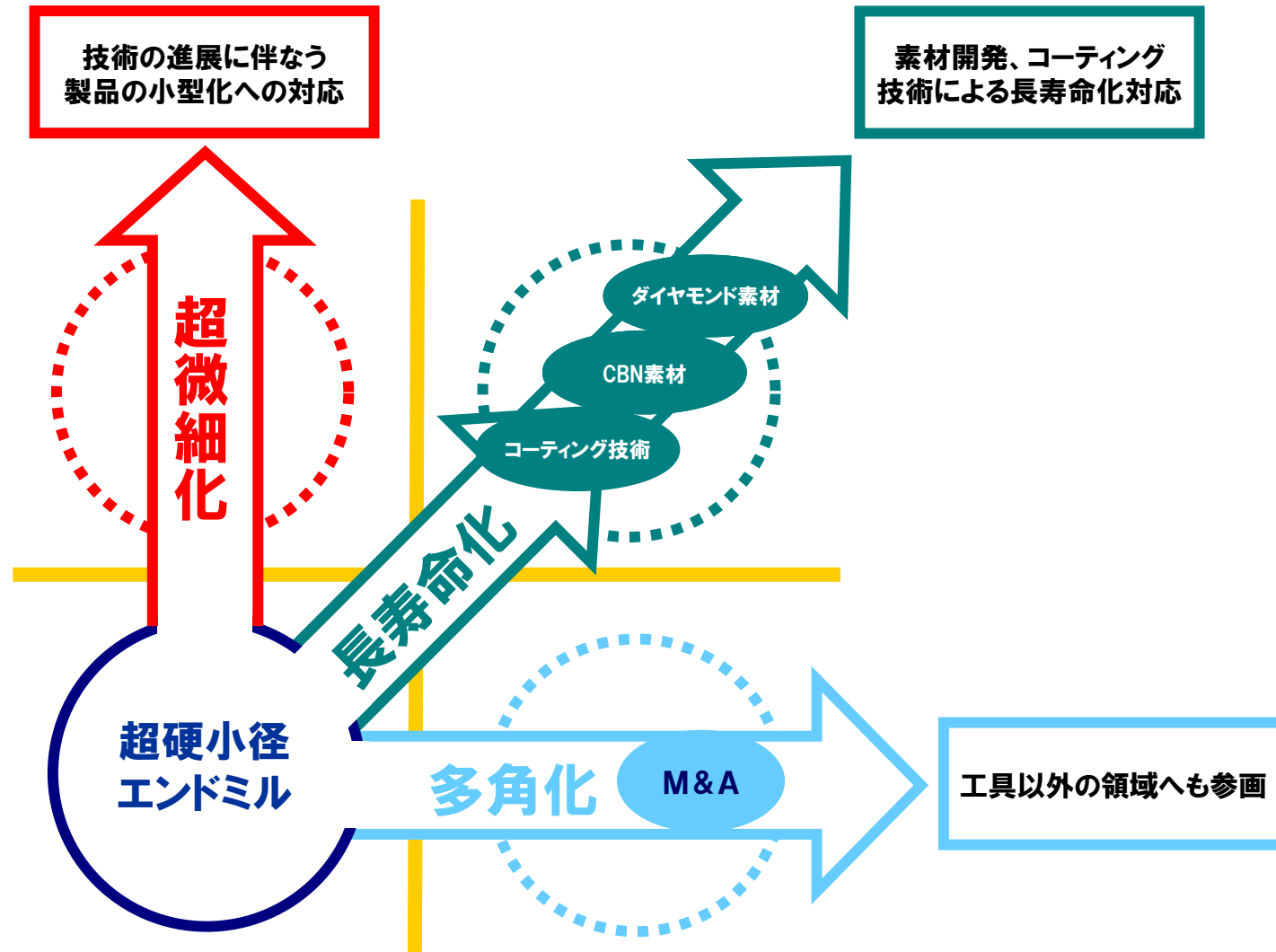


海外戦略

- 工作機械メーカーとの協調によるセールス
- 国際展示会への積極的な出展で当社製品をアピール
- 国別代理店政策を強化

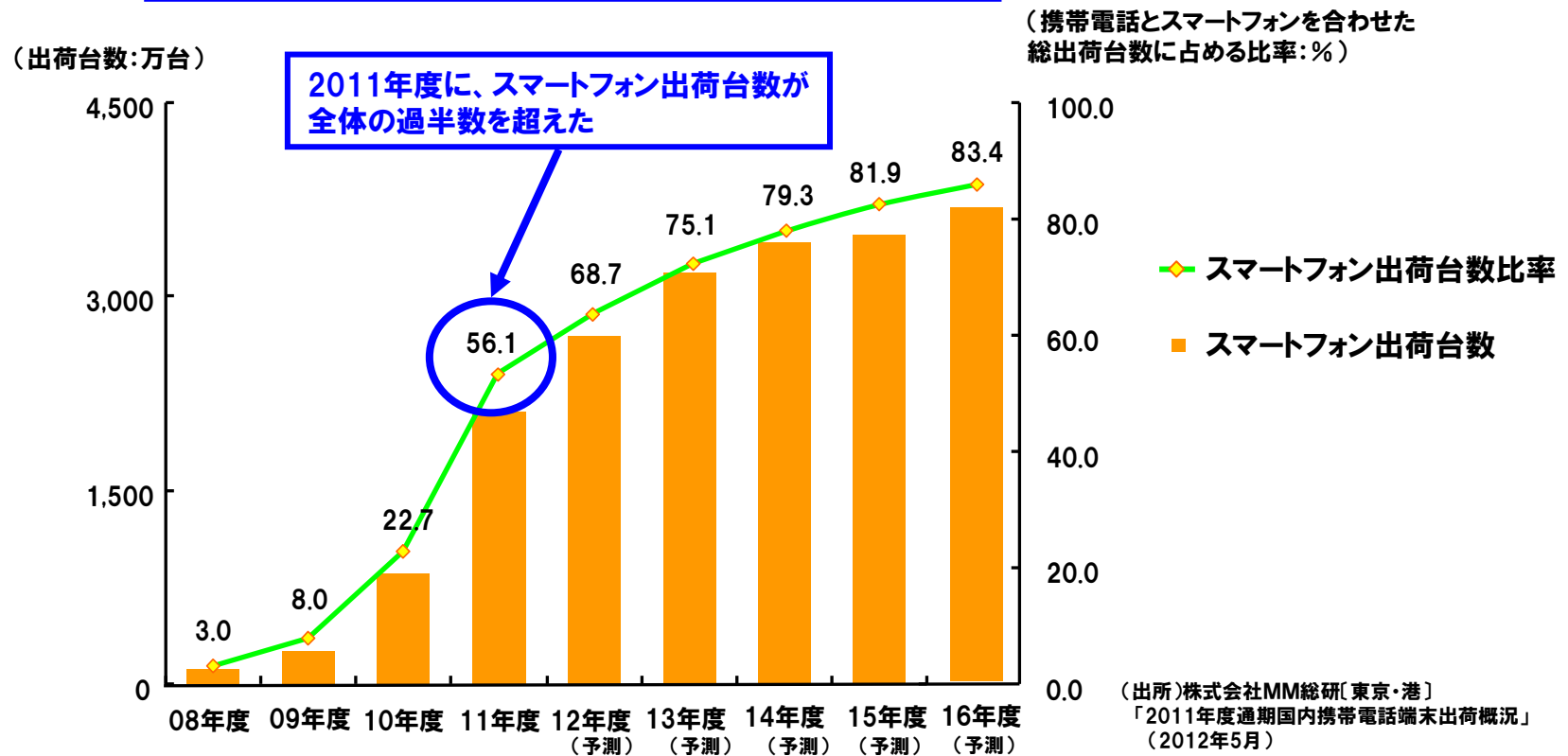
③ 製品戦略

高精度技術力の推進による事業フィールドの拡大



今、最もホットな分野：スマートフォン市場の動向

スマートフォン出荷台数(比率)の推移・予測



スマートフォンの部品点数は携帯電話の5割増 ➡ 超硬小径エンドミルの需要拡大へ



3. 2012年3月期の業績



エグゼクティブサマリー

(百万円、%)

	期初予想	2012年3月期 通期実績
売上高	5,085 (+2.2%)	5,781 (+16.1%)
営業利益	495 (△37.7%)	962 (+21.1%)
経常利益	505 (△39.4%)	1,032 (+23.7%)
当期純利益	285 (△33.1%)	535 (+25.4%)

- 2012年3月期は東日本大震災の影響で保守的だった期初予想を3度にわたり上方修正
- 仙台工場は被災したが、本社に在庫センターがあり出荷への影響は回避し、売上高は順調に推移
- 生産効率アップによる売上総利益率の向上と販管費率の改善で2割増益を達成
- 今期より牧野工業が連結に加わる
(売上高440百万円、営業利益26百万円)

※()内は前期比増減率

2012年3月期の重要なトピック

1 過去最高の生産水準を達成

東日本大震災により被災した仙台工場の早期復旧と自動化ラインの増強効果

2 牧野工業を買収

プラスチック成形（工具ケースが中心）メーカーとの相乗効果を目指す

3 “超”モノづくり部品大賞日本力(にっぽんぶらんど)賞を受賞

極微細ねじ加工用エンドミル「マイクロねじ切り工具MMTS」の技術力が高く評価される（P32参照）

IR宣言

2012年3月8日発表

IR宣言を公表し、パブリック企業として皆様への説明責任を果たしてまいります。

日進工具株式会社 IR宣言

日進工具株式会社は、ここにIR宣言をいたします。

- IR活動を経営の最重要項目のひとつとして位置づけます。
- ジャスダック上場のパブリック企業として説明責任を果たし、常に明瞭な企業メッセージを発信いたします。
- 企業認知度の向上を目指すとともに、事業環境や業績の好不調にかかわらず、一貫して前向きなIR活動を行います。
- 個人投資家、機関投資家、また国内、海外を問わず、すべての市場関係者に対して公平かつタイムリーなディスクロージャーを行います。
- 市場並びに株主・投資家の皆様とのゆるぎない信頼の構築に努めます。

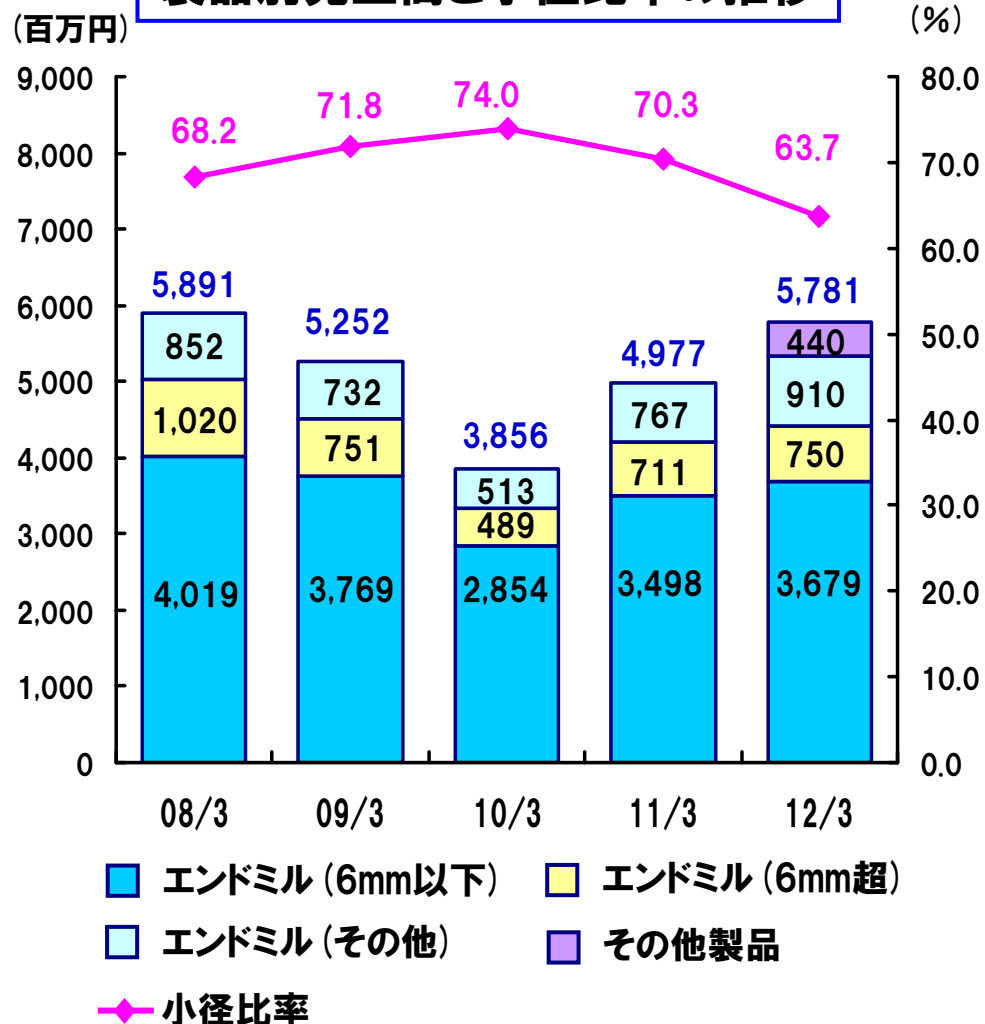
損益計算書サマリー

(百万円、%)

	2011/3	2012/3	前期比	コメント
売上高	4,977	5,781	+16.1%	牧野工業分(440百万円)を除くと 前期比+7.3%
売上総利益(率)	2,352 (47.3%)	2,740 (47.4%)	+16.5%	牧野工業(31.2%)の連結後でも 前期並みを確保
販管費(率)	1,557 (31.3%)	1,777 (30.7%)	+14.1%	人件費増等により販管費は増加したが 増収効果で販管費率は改善
営業利益(率)	794 (16.0%)	962 (16.7%)	+21.1%	増収により2割強の営業増益果たし、 営業利益率は0.7ポイントアップ
経常利益(率)	834 (16.8%)	1,032 (17.9%)	+23.7%	営業外収益増加の影響により 営業利益段階の増加率を上回る
当期純利益(率)	426 (8.6%)	535 (9.3%)	+25.4%	
設備投資額	274	1,051		仙台工場隣接土地・建物取得(297百万円) 等を含む
減価償却費	440	471		牧野工業分追加による影響含む
1株当たり配当金	50円	70円		利益水準の増加にあわせ20円の増配
従業員数	206人	232人		連結子会社の追加、新規採用により増加

売上高の推移 ①製品別

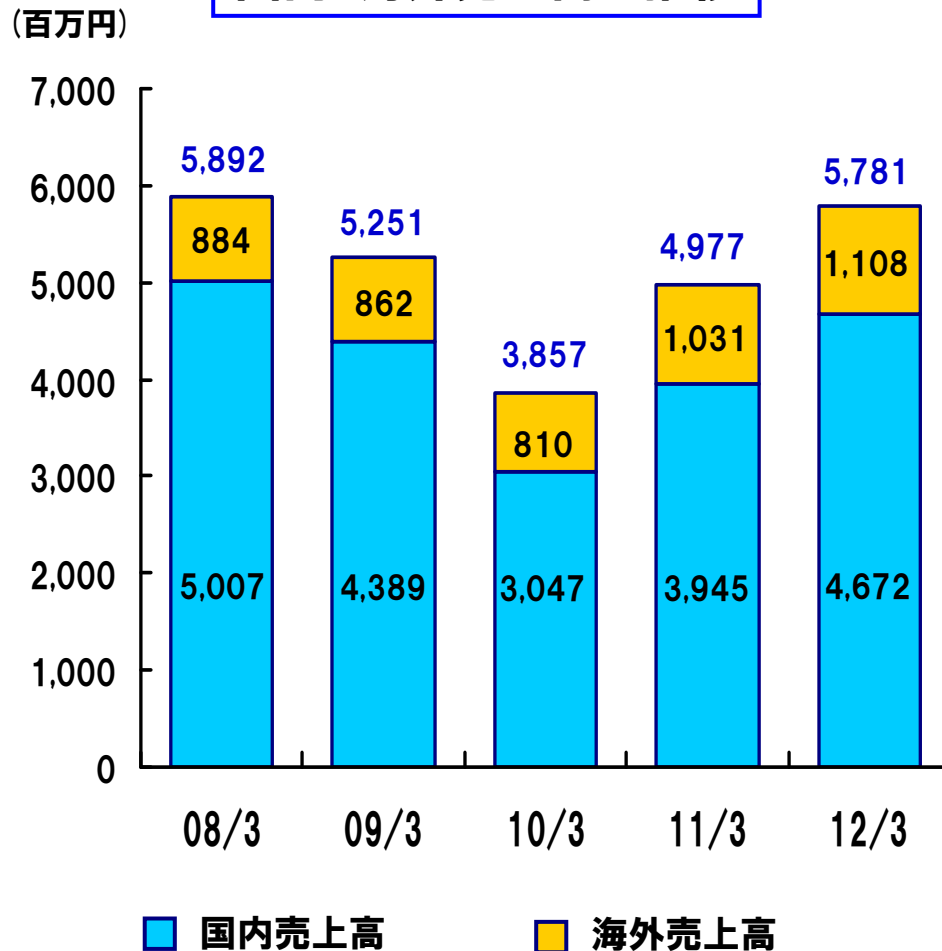
製品別売上高と小径比率の推移



- 連結売上高は前期比16.1%増の5,781百万円
- 東日本大震災により当社仙台工場が被災したが、本社に在庫センターがあり出荷への影響は回避
- 製品別では、主力の「エンドミル (6mm以下)」は前期比5.2%増の3,679百万円、特殊品等の好調から「エンドミル(その他)」が前期比18.7%増
- 牧野工業の連結により、当期から「その他製品」を追加 (440百万円)

売上高の推移 ②国内・海外

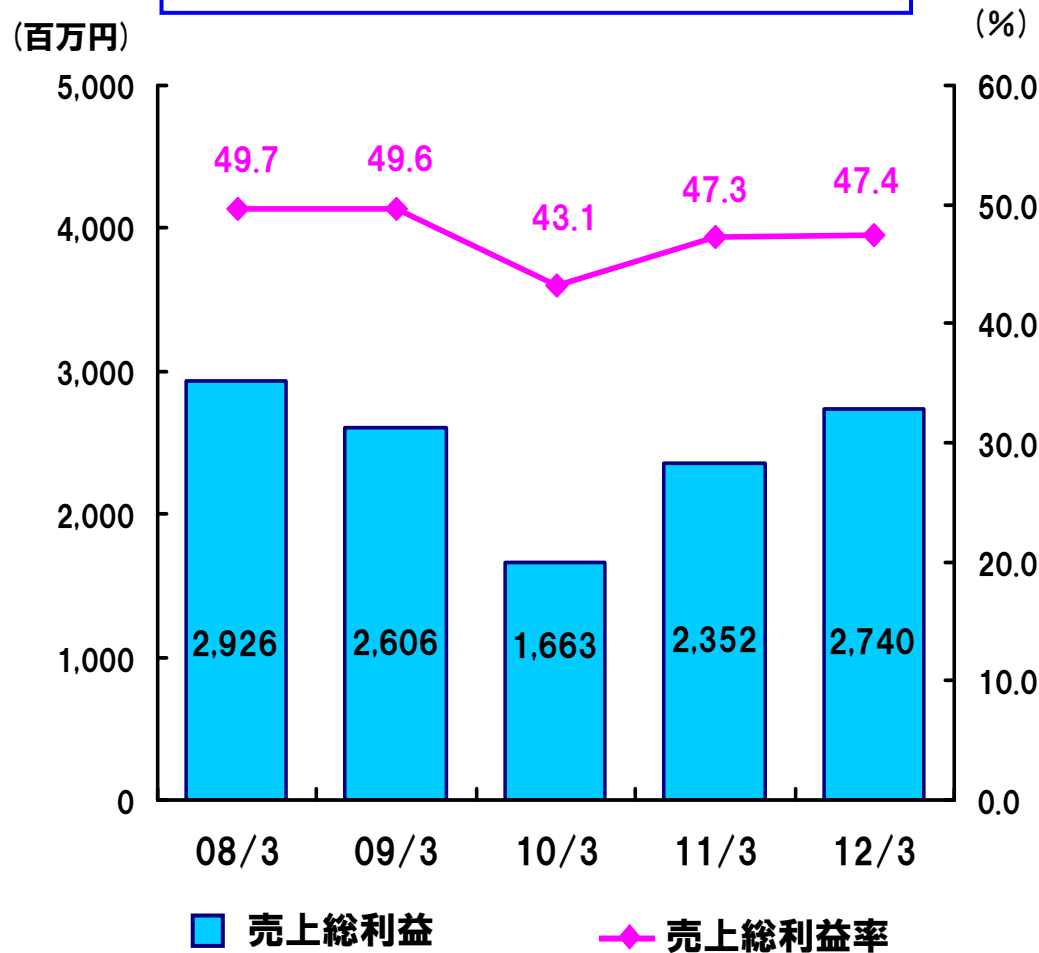
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は牧野工業（440百万円）が連結に加わったこともあり、前期比18.4%増の4,672百万円
- 海外売上高は前期比7.4%増の1,108百万円（過去最高）
- 海外売上高比率は1.6ポイント低下し19.2%（牧野工業による増加分を除くと20.6%とほぼ横ばい）
- 地域別では、台湾含む中国と欧州が前期比10%程度の増加となったが、東南アジアではタイが洪水の影響から大幅減となり前期をやや下回る水準となった

売上総利益の推移

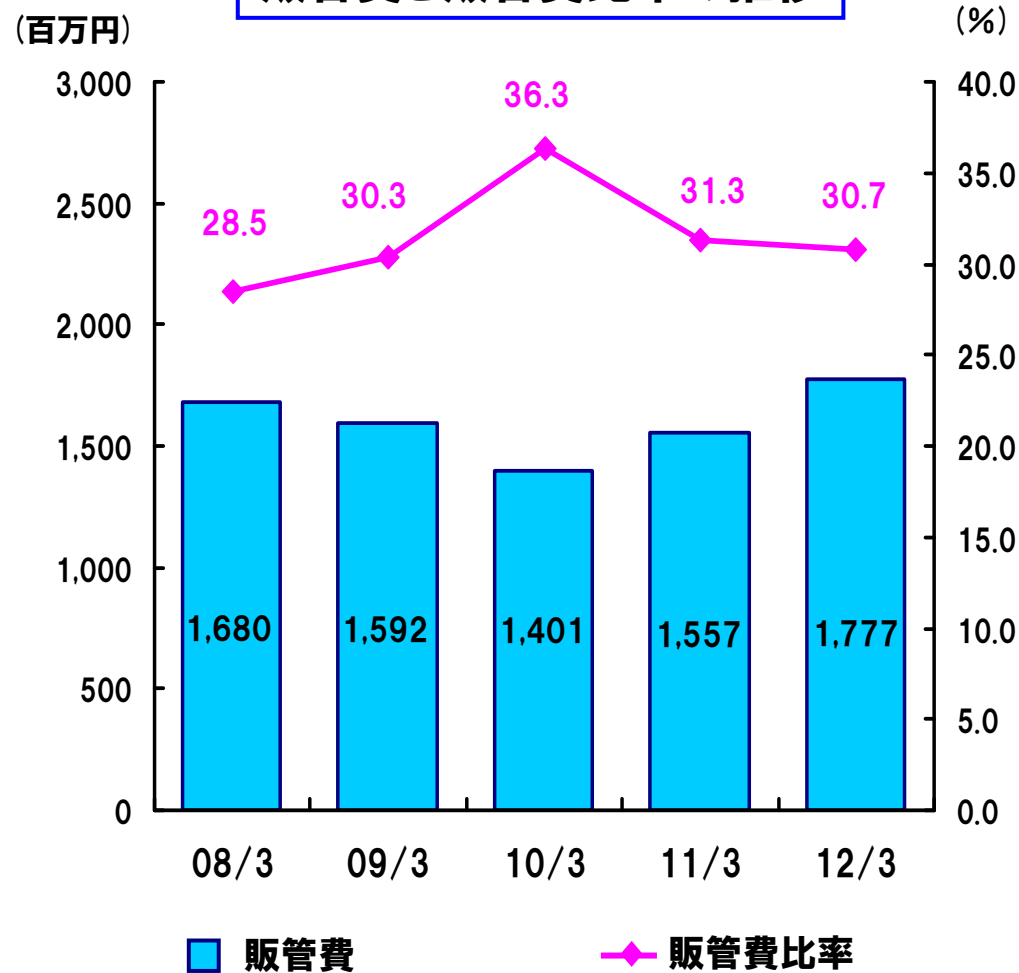
売上総利益と売上総利益率の推移



- 売上総利益は前期比16.5%増加し2,740百万円
- 売上総利益率は0.1ポイント上昇し47.4%
- 新規設備の導入や在庫積み増しによる生産効率の向上から、牧野工業(31.2%)連結後も前期並みを確保

販管費の推移

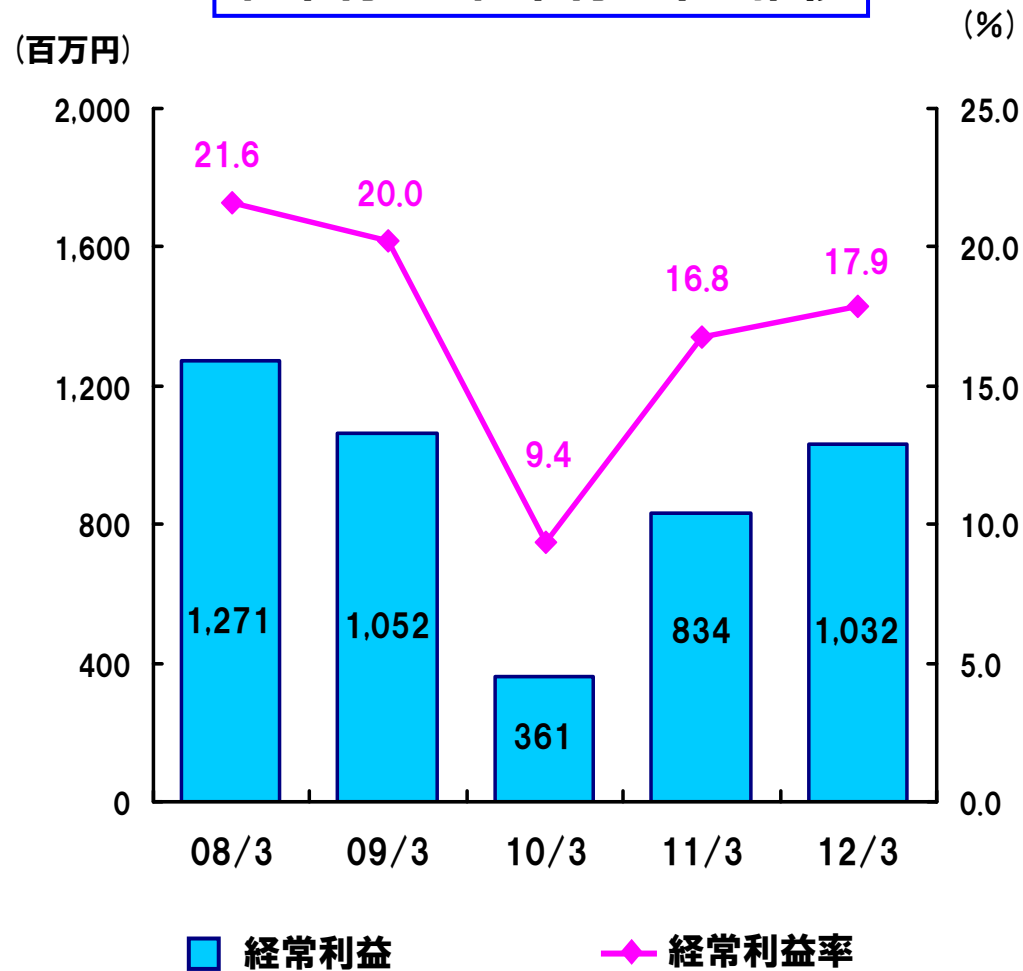
販管費と販管費比率の推移



- 販管費では、連結子会社の追加や営業強化のための積極採用等から人件費が増加したほか、子会社での研究開発費負担もあり前期比14.1%増の1,777百万円
- 売上高販管費率は0.6ポイント低下し30.7%

経常利益の推移

経常利益と経常利益率の推移



- 経常利益は前期比23.7%増の1,032百万円と3期ぶりに10億円台を回復
- 売上高経常利益率は1.1ポイント上昇し17.9%(売上総利益率+0.1%、販管費率改善+0.6%、営業外収益+0.4%)
- 営業外収益は、雑収入(家賃収入ほか)、受取配当金などによる

貸借対照表サマリー

(百万円、%)

	2011/3	構成比	2012/3	構成比	前期比
(資産の部)					
I 流動資産	4,487	62.8%	4,471	56.6%	-0.4%
現金及び預金	2,958	41.4%	2,231	28.2%	-24.6%
受取手形及び売掛金	739	10.3%	794	10.0%	7.4%
商品及び製品	409	5.7%	685	8.7%	67.5%
II 固定資産	2,655	37.2%	3,434	43.4%	29.3%
有形固定資産	2,422	33.9%	3,165	40.0%	30.7%
無形固定資産	9	0.1%	11	0.1%	22.2%
投資その他の資産	223	3.1%	257	3.3%	15.2%
資産合計	7,143	100.0%	7,906	100.0%	10.7%
(負債の部)					
I 流動負債	734	10.3%	949	12.0%	29.3%
買掛金	104	1.5%	176	2.2%	69.2%
II 固定負債	243	3.4%	279	3.5%	14.8%
負債合計	978	13.7%	1,228	15.5%	25.6%
(純資産の部)					
純資産合計	6,164	86.3%	6,678	84.5%	8.3%
負債・純資産合計	7,143	100.0%	7,906	100.0%	10.7%

- 仙台工場隣接土地購入等により、現預金が減少し有形固定資産が増加
- 震災等へのリスク対策の一環として製品在庫の積み増しを図ったため、商品及び製品が増加
- 無借金経営のため、有利子負債額はゼロ



3. 2013年3月期の業績見通し



業績予想見通し

2013年3月期の業績予想

(百万円)

	2012/3 実績	2013/3 予想	前期比	コメント
売上高	5,781	6,190	+7.1%	販売強化により増収見込む
営業利益	962	1,020	+5.9%	増益見込むが利益率はほぼ横ばい
経常利益	1,032	1,050	+1.7%	営業外収益（雑収入）が減少
当期純利益	535	600	+12.1%	子会社税負担の減少見込む
設備投資	1,051	1,560	+48.4%	機械設備増強、子会社工場新設
減価償却費	471	675	+43.3%	設備投資増により増加
EPS	343.68円	383.88円	+11.7%	
1株当たり 配当金	70円	77円	+10.0%	配当性向20%を目処

2013年3月期の重点戦略

1. 小径エンドミルの販売拡大

- (国内) 精密微細加工ユーザーの新規発掘と育成
部品加工ユーザーへの更なるアプローチ
- (海外) 各国・各地域にマッチした対応の実践

2. 新製品開発のスピードアップ

- 脆性材、高硬度材等多様な被削材への対応
- 新規市場に向けた工具開発

3. NSグループ全体での経営資源の有効活用

- グループ全体での最適な生産体制の構築
- (生産性向上、内製化によるコスト削減)



5. 日進工具が目指すもの



『Made in Japan』を標榜

◇ 国内生産にこだわる

先端技術の必要な製品は国内から出て行かない

国内拠点こそ研究開発向上のカギ

超硬小径エンドミルの製造は、労働集約型ではなく設備集約型（ハードとソフト）

◇ 国内のシェアアップ ⇒ 海外売上高の拡大

国内での評価が上がれば、海外での注目度も上がる

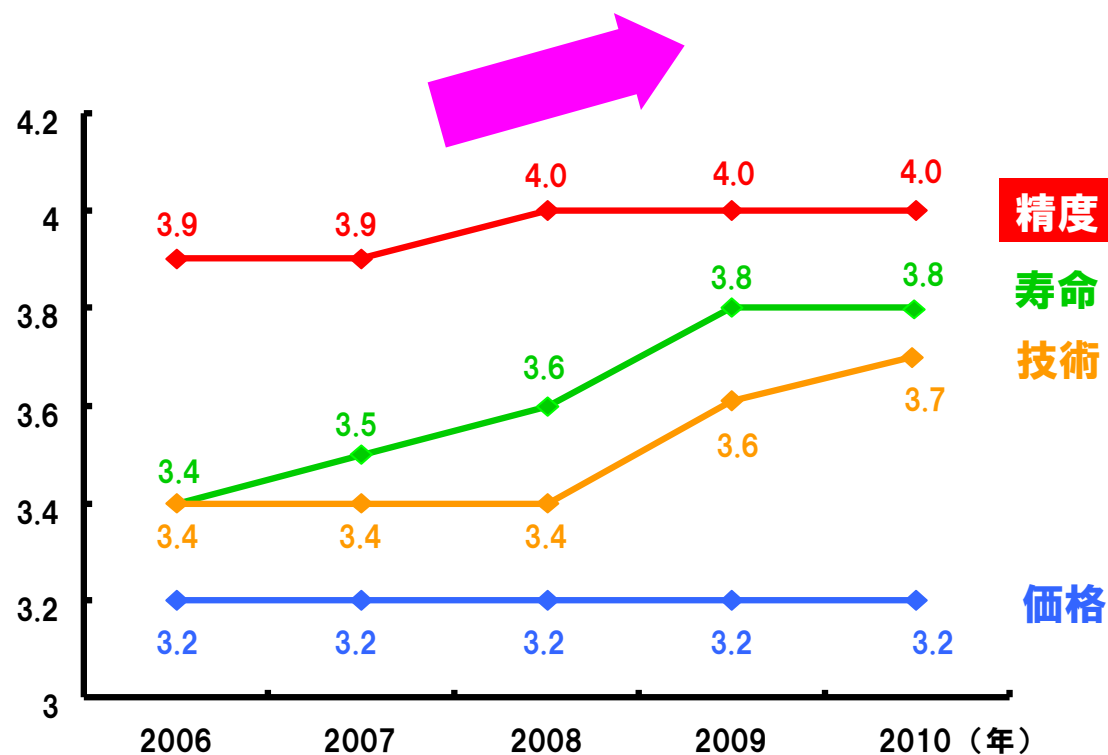
工作機械メーカーとの協調、展示会への積極的な出展

『Made in Japan』こそ最強の戦略

顧客満足度の向上

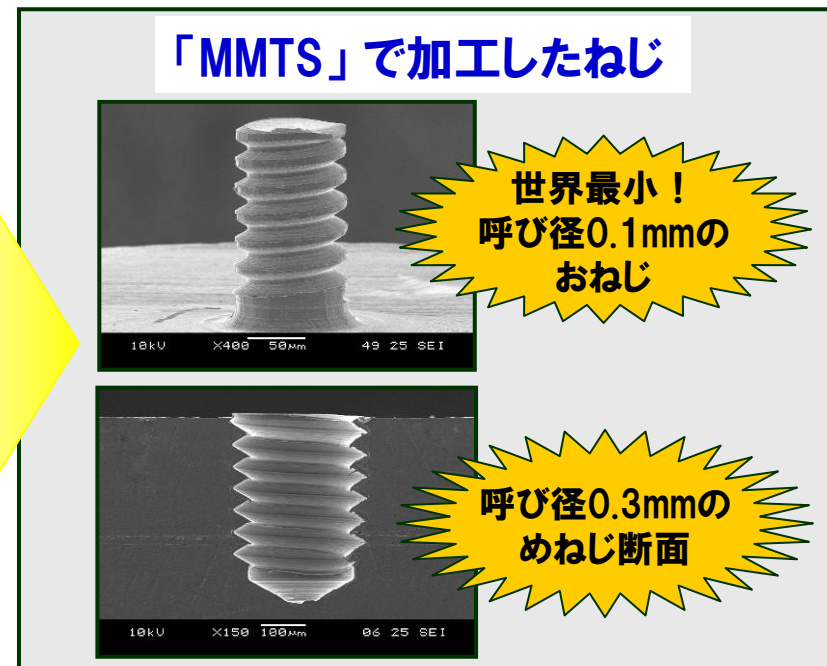
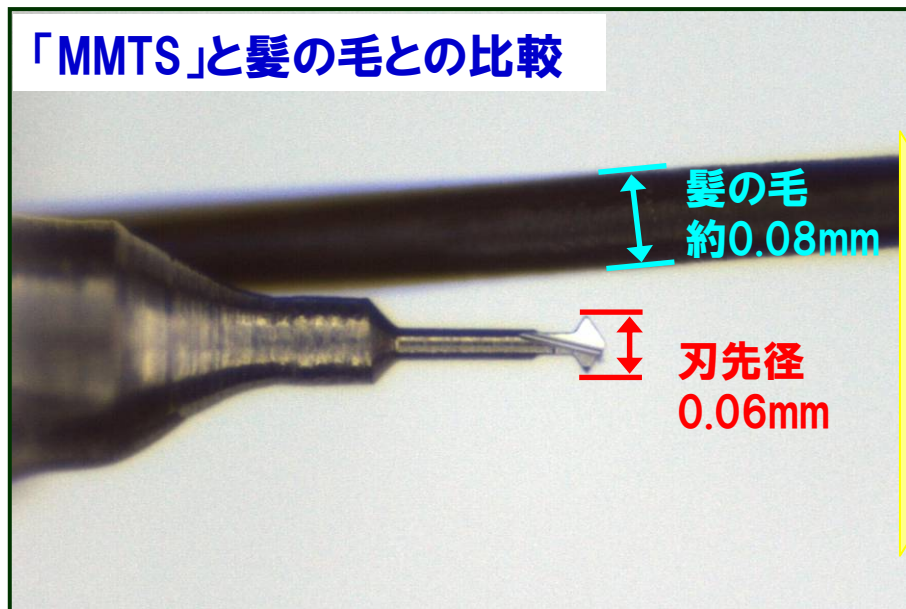
顧客満足度の推移（当社顧客1500社を対象としたアンケート）

顧客満足度は上昇中



技術力のあくなき追求

2011年 **超**モノづくり部品大賞「日本力 (にっぽんぶらんど) 賞」を受賞
【受賞製品 マイクロねじ切り工具 MMTS】



部品・部材を対象として、技術の独創性や性能、環境への配慮などに優れた製品が選定される
(モノづくり推進会議・日刊工業新聞社共催/経済産業省後援)

若手・女性社員を積極採用



株主の皆様との良好な関係づくりを目指した株主総会

前回の株主総会の概要

開催日時	2011年6月24日(金) 11:00~12:00
会場	大森東急イン 5階 フォレストルーム (JR大森駅直結)
御土産	・JCBギフトカード1,000円 ・海苔・海苔煎餅セット

今年度の株主総会 について(予定)

1. 株主の皆様が来場しやすい 日時の設定

※日時 2012年6月23日(土)
11:00~

場所 大森東急イン
5階 フォレストルーム

2. 開かれた株主総会に向けて

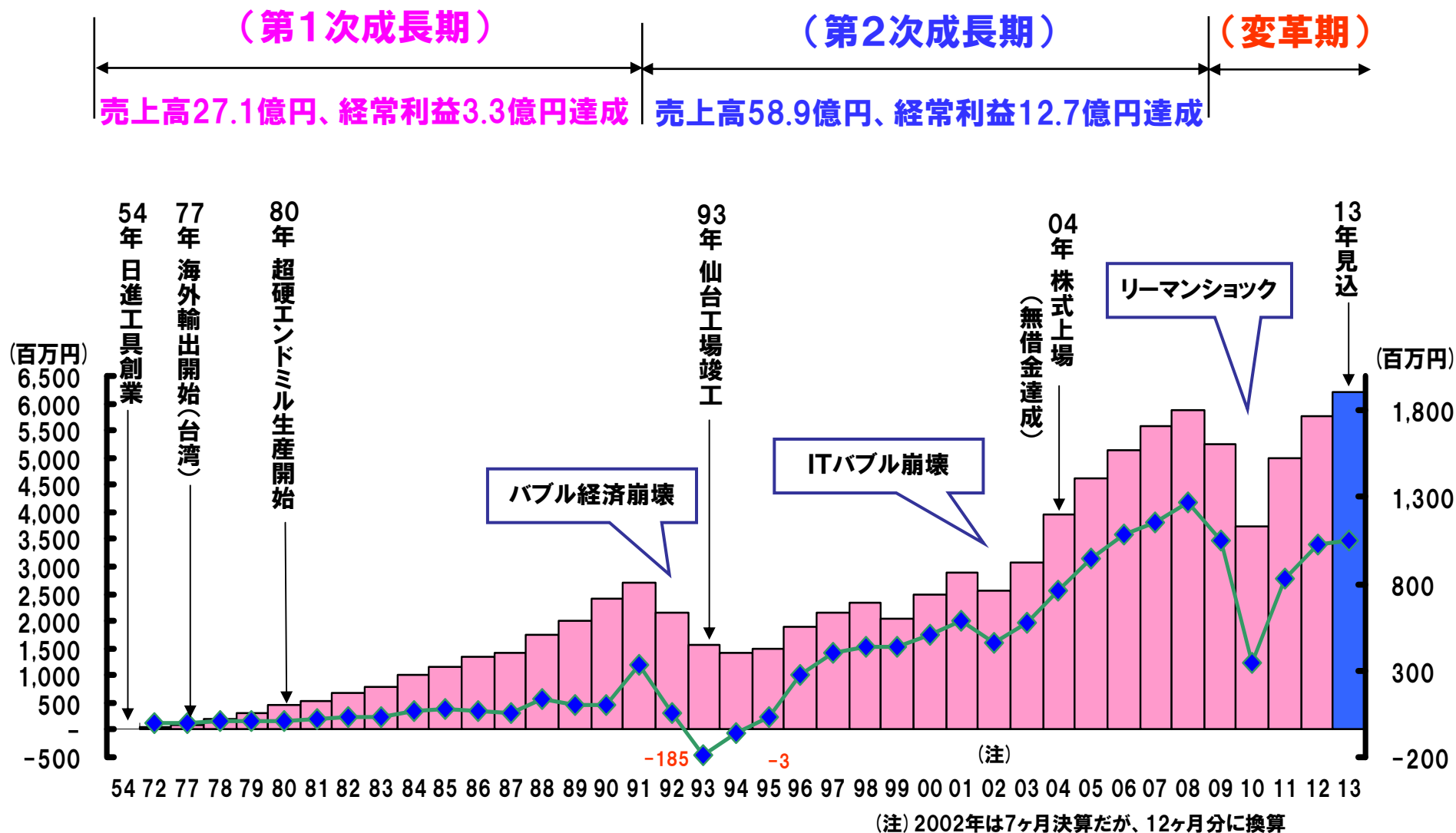
※原則としてすべての質問に回答

有言実行のIR活動の推進

日進工具株式会社 IR活動目標（2013年3月期）

1. 企業の認知度向上に努め、事業内容の理解促進に注力いたします。
 - ◆ 個人投資家向け説明会を年3回開催いたします。
 - ◆ アナリスト・機関投資家向け決算説明会を本決算・第2四半期決算の年2回開催いたします。
 - ◆ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会で使用したIR資料や質疑応答の内容については、可能な限りウェブサイトに掲載して広く公開いたします。
2. 企業理念並びに経営戦略を、情熱を持ってお伝えいたします。
 - ◆ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会については、すべて代表取締役社長の後藤勇が直接説明し、すべての質問に回答いたします。
 - ◆ アナリスト・機関投資家との個別取材については、すべての取材依頼に対応いたします。
なお、取材の際は代表取締役社長の後藤勇またはIR担当役員の田島寛のいずれかが必ず対応いたします。
 - ◆ 日進工具の企業価値や事業戦略を理解していただけるよう、明快なIRツールの提供を目指し、説明会で使用するIR資料並びにウェブサイトの改善に取り組みます。
3. 中長期のステークホルダーを増やし、株主満足度向上に邁進いたします。
 - ◆ 株主・投資家の皆様の声を経営にダイレクトにフィードバックし、企業価値の向上に努めます。
 - ◆ 電話やメールでのお問い合わせについては、原則としてすべてに対応いたします。
なお、多く寄せられる質問につきましては、ウェブサイトのFAQコンテンツに掲載し、広く公開いたします。
 - ◆ より多くの株主の皆様にお越しいただけるよう、株主総会を土曜日に開催いたします。
なお、株主総会では原則として すべての質問に回答いたします。
 - ◆ 株主の皆様は、配当性向に配慮しつつ業績に応じた適切な利益還元を実施いたします。

<参考資料①> 創業時からの売上高・経常利益推移



<参考資料②> 過去5年間の業績と主要データの推移

(百万円)

	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期
売上高	5,892	5,251	3,857	4,977	5,781
経常利益	1,271	1,052	361	834	1,032
当期純利益	727	598	242	426	535
有利子負債額	0	0	0	0	0
純資産額	5,169	5,649	5,784	6,164	6,678
総資産額	6,409	6,265	6,363	7,143	7,906
自己資本比率	80.7%	90.2%	90.9%	86.3%	84.5%
設備投資額	499	902	386	274	1,051
減価償却費	402	453	491	440	471
1株当たり 配当金	77円	70円	30円	50円	70円
従業員数	206人	205人	205人	206人	232人

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役管理部長 田島 寛 / IR担当 今関 弘毅

TEL : 03-3763-5672

FAX : 03-3764-8225

E-mail : ir@ns-tool.com

将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。